



荒砥高校入学式

歳出

（町の支出）

質疑

総務費

荒砥高校生への支援の現状は

議員 新入生応援事業としての応援券の使い道とホームヘルパー資格取得の結果は。また、今後の対応は。

当局 応援券はほとんど制服購入代となっている。制服が高額なことと消費税の増税があり応援券増額の要望がある。ホームヘルパー資格取得講座は5人が受講し、全員が福祉施設に就職した。社会福祉協議会に委託していることから1講座10人程度を基本にしたい。

民生費

認知症対策事業の結果は

議員 認知症初期集中支援チーム設置推進モデル事業の結果を踏まえ、認知症の進行を抑えるための取り組みは。

当局 平成26年4月現在、認知症の方が492人、うち在宅者が433人で、

衛生費

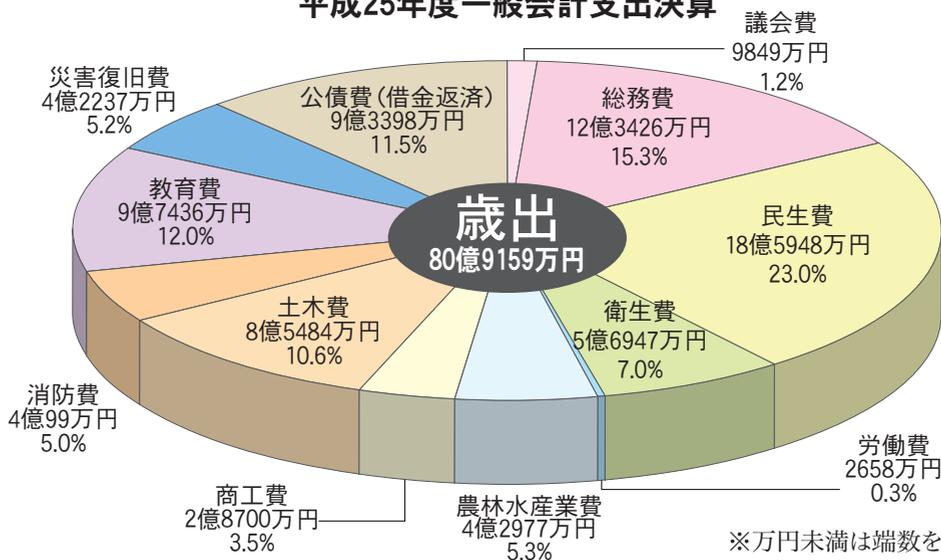
ごみを減らす取り組みは

議員 ごみの処理量が減れば清掃事業分担金も削減されるが、近年のごみ処理量の推移とごみを減らすための取り組み状況は。

当局 平成23年度から増加傾向にある。白鷹町美しい郷づくり推進会議が母体となり、ごみの減量化を含めて環境基本計画の具体的な事業を部会ごとに展開している。他に環境フォーラムの開催や子供の廃品回収の奨励金交付事業などを実施している。

今後増加傾向にある。支援チームの訪問により医療や介護サービスにつながった方が10人となっている。また、介護サービスの拒否や安全対策の問題などの課題も見えてきた。これらを踏まえ次期介護保険事業計画での認知症施策の位置付けを強化する取り組みを行う。

平成25年度一般会計支出決算



※万円未満は端数を整理しています。